

●工事状況

躯体工事では、高層工区で屋上階・ヘリポートの鉄骨工事も終盤になりつつあり、低層工区では、鉄骨工事が終わり、鉄筋コンクリートスラブの躯体工事をわずかに残すのみです。

内装工事では、1～3階にかけて壁・天井の軽量、ボード工事がまとまり始め、4～7階では壁・天井の軽量、ボード工事が本格的に始まりました。

今後新たな工事として新病院と既存病院とを繋ぐ連絡通路工事が始まり、より竣工へと近づいていきます。工事はこれから最盛期を迎えていきますが、安全第一で工事を進めていきます。

定点写真



●壁の向こうは・・・？

右写真の謎のパネルのようなもの…こちらは押出成形セメント板、別名ECPとも呼ばれております。セメント、ケイ酸質原料、繊維質原料が主な原料であり、中高層の建物の外壁に用いられます。ECPは耐久性、耐火性、耐震性に優れています。また表面にタイル張や塗装を施すことが可能であるため意匠性に富む部材です。そんな優れたECPを取り付ける工事がまもなく始まります。ECPが取り付けられる場所は新病院の屋上と1階のごく一部です。新病院が完成した際、是非一度こちらの部材がどこで使用されているのか探してみてください。

まもなくECP工事が始まります！



●工程

	令和4年度 1月	工事進捗率	51.8%
躯体工事	R階及び低層部 柱/梁/壁/床 鉄筋/型枠/コンクリート/鉄骨工事	ヘリポート工事/ 渡り廊下工事	
仕上工事	断熱工事・耐火被覆工事・軽量間仕切壁/天井工事・外装工事	軽量間仕切壁/天井工事・内装仕上工事・外装工事	
設備工事	外構工事・建屋内設備工事・機器据付工事	外構工事・建屋内設備工事・機器据付工事	

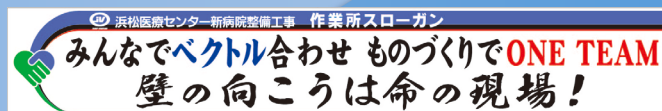
●コラム《竣工を迎える年》

2023年の干支は十干と十二支を組み合わせた六十干支で表した場合「癸卯」という干支になります。「癸」は十干内の最後の順序にあたり、一つの物事が収まり、次の物事へ移行していく段階を表し、「卯」は茂という字が由来といわれており、増える、成長するという段階を表します。このことから、物事に区切りが付き、飛躍的に成長を遂げる干支であるという解釈があります。現在、躯体工事は終わりに近づき、内装工事や設備工事の最盛期へと向かっています。今年の干支である「癸卯」にぴったりですね。

また、竣工に向け安全祈願に行ってきました。浜松医療センター新病院の竣工へ向け、みんなでベクトル合わせて進んでいきます。



関係者で安全祈願に行きました(秋葉神社)



工事かわら版を毎月発行します。次回は2月下旬です。
発行：清水・須山・中村組特定建設工事共同企業体
工事のお問い合わせはこちらまで TEL:053-488-5601